令和８年度　福生市立福生第二小学校　学校だより　　https://fussa-2e.hs.fussa.school

月見草

令和８年 10 月 30 日
11 月号 No.495
発行責任者
校長 西村　学徳
所在地　福生市熊川 623

笑顔と感動が溢れた運動会 ～422 人の思いをつなげて～

校　長　　西 村　学 徳

先日の運動会は、あいにくの天候により延期となりましたが、翌日の日曜日には澄み渡る秋晴れとなりました。多くの皆様が見守る中、運動会を無事に開催できたことを心より御礼申し上げます。



全校競技
「きてきて♪お助けつなひき」

今年度の運動会を語る上で欠かせないのが、「一人の力をみんなでつな GO！422 人で輝く笑顔に！」というスローガンです。この言葉は、計画代表委員の子供たちが各学級から出された言葉をもとに、単に言葉の響きのかっこよさではなく、「二小のみんなでどんな運動会を創り上げたいのか」をとことん話し合って生み出したものです。自分たちの手で最高の運動会にしたいという強い思いが込められていました。

私からは全校朝会等で「運動会への思いを全身で表現してほしい」と子供たちに何度も話をしてきました。思いや願いをもって本気で取り組む・表現することこそが、成長と本校が大切にしている「感動体験」につながると考えていたからです。

そして、スローガンや私の言葉に応えてくれるかのように、子供たちは練習の段階から素晴らしい姿を見せてくれました。応援団の最初の顔合わせでの力強い自己紹介やその熱量に触れた瞬間、「今年度の運動会は、絶対に盛り上がる！」と確信しました。また、本校の特色の一つである「異学年交流」も各学年の表現等で活発に行われ、低・中・高学年それぞれで上級生が下級生に手本を示し、優しくリードする姿が校内のいたるところで見られました。



５・６年 表現
「一心・前心・挑心～思いをつなぎ、信頼の先へ～」

運動会当日は、どの学年も全力の演技で観客を魅了しました。特に高学年の表現は、息をのむ程の集中力と高い完成度で大きな感動を生み、その姿を食い入るように見つめる下級生の眼差しも大変印象的でした。係活動で運動会の運営を支え続けた姿も含め、高学年の姿は下級生にとって大きな憧れとなったはずです。

さらに、第一中学校１年生有志ボランティアや未就学児競技など、幼保小中の連携の取組も運動会に温かな彩りを添えてくれました。

勝敗を越え、一人一人が全力を出し切り、スローガンのとおり全校の力が一つにつながり、清々しい笑顔が輝く一日となりました。

開催にあたり多大なご支援・ご協力を賜りました保護者・地域の皆様に改めて感謝申し上げます。今後も学校と家庭・地域が手を取り合い、子供たちを支えていきたいと思います。